

ご 挨拶

会長 池田 幸智

第28回全日本選抜ローラー・スキー羅漢山大会も無事終え、いよいよ雪上に於ける各大会に向け、緻密で確実に効果が期待できる行事計画を最終的に準備する季節を迎えました。昨シーズンは大山選手の国体4位入賞の輝かしい成績と4年振りに県体育大会スキー競技会を開催できた事は多くの方々のご支援のお陰と心より感謝申し上げます。

又、多年に至り県体を開催されスキーの発展と普及に貢献された羅漢山スキー場の閉鎖は世の流れとは云え誠に残念なことです。特に玖北地区の方々のスキーに対する情熱は多くの選手や指導者を育て、県スキー連盟に与えられたご功績は数知れず程有りますが、感謝と共にその歴史を忘れる事なく、これからもご指導、ご理解を頂くように連盟は大きな責務を認識しなければならないと思います。

今夏も異常な気候で雪への思いも不安がありますが綿密な計画の元に各行事が目的の効果を得るよう関係各位のご協力をお願い致します。

さて、山口国体を二年後に控え強化選手の活躍は勿論ですが、半世紀に一度しか巡り来ないこの大会が県スキー連盟の組織強化となり、依り多くの選手やスノー・スポーツの愛好者が増加する機会となるよう私共は重大な責任を持たされています。特に公認資格者はこのシーズンを期に十分に義務と任務を理解され、其々の分野で活躍されることを期待します。特に競技部の運営については選手の育成から競技力の向上まで常に安全に留意しながら、より高度な知識と技術を得るよう格別な尽力をしなければならない時と思います。

終わりに来るシーズンが雪に恵まれる事を祈念し、又賛山会、各行事等にご支援頂いた各位に心から感謝の意を表しご挨拶と致します。